

1月20日（月）全校朝の会「二十四節気の話」「縦割り活動開始」

学校長から、全校朝会で「二十四節気」の話がありました。（一部抜粋）

毎日寒い日が続きますね。今日、1月20日は、何の日か分かりますか？「大寒」です。大きいという字と寒いという字を書いて、「大寒」と言います。「大寒」は、一年中で寒さが最も厳しくなるころという意味です。季節を表す言葉には、1年を4つに分け、春・夏・秋・冬と表します。1年を半月（15日）ごとに24に分けたものを二十四節気（にじゅうしせっき）と言います。二十四節気（にじゅうしせっき）は、季節ごとに六つに分けて美しい名前がついています。その二十四節気の最後が1月20日の「大寒（だいかん）」です。この「大寒」から、2月3日の「節分」までの間が、一年で一番寒い日が続くと言われています。

当麻小学校のみなさんは、寒さの中でも、なわとびや外遊びをよくして、しっかりと体を鍛えていますね。すばらしいと思います。この調子で、寒さに負けずに、元気に過ごしてほしいと思います。

そして、大寒が終わると、二十四節気の始まりにあたる2月4日、「立春（りっしゅん）」です。「春」のスタートとされています。まだまだ厳しい寒さは続きますが、校庭の木を見てみると、枝の先に木の芽が膨らんできています。春に向けて寒さに耐えながら準備をしています。みなさんも、春に向けて、心や体の栄養を蓄えて、しっかりと準備をしていきましょう。



その後、縦割り班を決めて自己紹介をしました。3学期に2回交流する予定です。

